

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ミライなかくすく		
○保護者評価実施期間	2026年3月3日		～ 2026年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年3月3日		～ 2026年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や状況に応じた個別支援	日々の関わりや保護者との情報共有を通して、個々の課題や強みを把握しながら支援内容を調整している。	職員間でのケース共有やアセスメントを継続し、より専門性の高い支援につなげていく。
2	保護者との連携・相談しやすい環境づくり	送迎時や連絡ツール等を活用し、日頃から子どもの様子や成長について丁寧な共有を行っている。	定期面談や情報発信を充実させ、家庭と事業所がより協力しながら支援できる体制を強化する。
3	活動内容の工夫と安心できる環境づくり	固定化しない活動プログラムを意識し、子どもたちが楽しみながら参加できるよう工夫している。	地域資源や体験活動も取り入れながら、社会性や自主性を育む機会をさらに増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会の不足	感染症対策や活動範囲の調整等により、地域交流の機会が限られていた。	地域行事や公共施設の活用等を通して、地域との関わりを増やしていく。
2	家族支援プログラム等の実施機会	日常的な相談支援は行っているが、保護者向け研修等の実施頻度が十分ではない。	保護者参加型の情報共有会や学習機会を設け、家庭支援の充実を図る。
3	事業所内での情報発信の整理	支援内容や取組について、保護者へ十分に伝えきれていない部分がある。	活動報告や支援内容を分かりやすく発信し、事業所理解につながる工夫を行う。